

Otemae Winds



[大手前ウインズ]

No.47
2025年9月

新たなミライとの 出会い

Special Interview

感性が見える化する心理学と情報学、
ふたつの出会いから生まれる
新たな学びへ

大手前大学 現代社会学部 准教授

竹澤 智美

Close up! それぞれの挑戦

**NST(栄養サポートチーム)を深く学ぶ
新サークルを設立!**

大手前大学 健康栄養学部 3年生

NSTサークル代表

藤原 明音

幅広い学びや体験で

自分自身の可能性を広げたい!

大手前短期大学 ライフデザイン総合学科2年生

学生スタッフTOT(トット) 隊長

寺田 夕海



感性を見える化する心理学と情報学、 ふたつの出会いから生まれる新たな学びへ



人の感じ方や心の動きなどを分析・研究する、「感性心理学」「知覚心理学」のスペシャリスト竹澤准教授。
目に見えない“心”を「見える化」し、より深いコミュニケーションや豊かなモノづくりにつなげていく楽しさを授業で伝えながら、
情報学部(仮称・設置構想中)準備メンバーとしても活躍中。

そんな竹澤准教授に、心理学の楽しさや大手前大学ならではの学び、そして2027年より始まる新学部についてお聞きました。

人の感覚や心を可視化する 知覚、感性の心理学

幼いころから心理学に興味があり、大学では心理学を専攻。最初に取り組んだのは、モノの見え方や感じ方など、「知覚」の研究でした。論文のテーマは、目で見えたモノと実際との間にズレがある「錯視」について。その現象に純粋なおもしろさを感じ、知覚の仕組みが解明できるかもしれないという可能性に惹かれました。そこから三次元的な空間の見え方や、写真を撮る角度で印象が変わる研究など、興味の枠がどんどん広がっていきななかで、人の気持ちや感覚を客観的に捉える「感性心理学」に行きついたのです。そんな私は、途中で研究テーマを変えるなど一つに定まらない人間でしたが、「人間はバラバラなことをやっているようでも、ちゃんとつながっている」とい

う恩師の言葉の通り、すべての経験が血となり肉となっていると、今、改めて感じています。特に、徹底的に学んだ心理学の研究法、実験法、統計法は、自分自身を支えてくれる大きなベースになっています。

多様な個性や学びと出会い 自らの世界を広げていく

大手前大学には2025年4月に着任し、現代社会学部で「感性の心理学」「心理学統計法」の授業を担当しています。これらの授業では感性の測定法をはじめ、そこから得られるデータを分析し効果的に伝えていくスキルを身につけていくわけですが、人の心を見える化することは、たとえば商品やサービスの開発、コミュニケーションなど、社会のさまざまな場面で大いに役立つでしょう。また、あら

かじめ考えていた仮説とはまったく異なる結果になって、そこから新しい視点や興味が生まれることも。こうした新しい出会いや気づきは、未知の世界が広がる楽しさがあります。特に、学部・専攻の垣根を超えて学ぶ「クロスオーバー」を実践する大手前大学には、いろんな個性が集まって、しかも、一人ひとりの興味やその濃淡も多種多様です。幅広く多彩なカリキュラムや多様な個性を持つ仲間など、たくさんの出会いのチャンスがあるからこそこの学びが広がっていると感じます。





Takezawa Tomomi

大手前大学 現代社会学部 准教授

竹澤 智美

〔研究分野〕文学・人文・人間・心理

〔研究テーマ〕感性の心理学／知覚心理学／
画像のなかの三次元性の知覚

情報学と心理学が創り出す 可能性にワクワクが止まらない

さらに、2027年からは新しく情報学部(仮称・設置構想中)が加わり、大手前大学での学びのチャンスはますます大きくなるでしょう。人工知能やプログラミング、データサイエンスなどの情報技術やVR/AR、音響・映像などのデジタル表現といった最新技術は、今や社会や生活に欠かせないもの。だからこそ、単に技術だけでなく、人の感性や感覚、心の動きを理解し、豊かな暮らしや幸せにしっかりとつなげていくことが大切です。私自身も、情報学という新たなフィールドで心理学を学ぶことにとてもワクワクしていますし、これまで出会ったことのない学生たちと出会えるのも楽しみの一つ。そして、心を見える化するための手法やスキルを学生に伝えることで、これからの情報社会を生き抜く力、新しい価値を創り出す力を育んでいきたいと思っています。情報学と心理学、技術と感性という、異なる領域が出会う時、いったいどんな化学反応が起こるのか…。新たなクロスオーバーから生み出される可能性に満ちた学びを、学生たちと一緒に切り拓いていきたいです。

＼ こんな楽しいクロスオーバーの試みも！ /

2025.6.8(SUN)

日本文学×心理学

和の伝統「川柳」で人の感性を解き明かす！

2025年6月8日に行われた大人気企画、大学体験イベント「周央サンゴの大手前大学たいけんご! 2025」では、国際日本学部・辻村尚子准教授、大手前女子大学(当時)卒業生の川柳作家・やすみりえ氏とのコラボレーションで、川柳募集企画を開催しました。伝統文学「川柳」の講義の後、応募作品



への投票データをもとに「リズム感」「心情」「言葉選び」「共感」「表現力」の5つのポイントから竹澤准教授が作品を分析。人の好みや感じ方を可視化することで、より深い作品への理解と川柳の魅力を実体験！人気VTuberンゴちゃんのナビゲーションで、高校生の皆さんと楽しい時間を過ごしました。

2027年4月

情報学部誕生！ (仮称・設置構想中)

「国際日本学部」「建築&芸術学部」「現代社会学部」「経営学部」「健康栄養学部」「国際看護学部」を展開する大手前大学に、新たに感性とテクノロジーを融合した「情報学部(仮称・設置構想中)」がスタートします。一人ひとりの 이슈(興味・関心・課題)を起点に、学部の枠を超えて自由に授業を組み合わせる「クロスオーバー」の可能性がさらに拡大! あなただけのオーダーメイドの学びで、自由に未来を描きましょう。

NST(栄養サポートチーム)を深く学ぶ新サークルを設立!

医療現場で活躍する管理栄養士 その夢に一步步近づきたいから。

幅広い学びから生まれた

将来の新たな夢

管理栄養士になりたくて、国家資格取得のためのサポート体制が整っている本学に入学しました。健康栄養学部のカリキュラムは**給食経営管理や調理学、栄養学など、栄養管理に関わるすべての分野を網羅**しており、幅広い学びのなかで将来は医療現場で活躍したいという新たな目標が誕生。3年生からは、進路に応じて選べる専門プログラムのなかで「医療栄養」を選択し、現在、臨床での栄養指導など、より専門的な知識やスキルを勉強中です。

学生が主役となってつくる

実践的な学びの場

特に、学習課題として注目しているのが、今や医療に欠かせない患者の栄養管理のなかで、大きな役割を果たしている多職種連携による**栄養サポートチーム「NST」**です。そこで、国際看護学部・土谷先生の「NSTの役割や仕事内容をしっかり学ぶ場をつくってみたいか」という声掛けに、「やりたいです!」と立候補。健康栄養学部、国際看護学部、短期大学 歯科衛生学科と仲間の輪が広がっていき、2025年6月にNSTサークルを設立しました。先生方の力強いサポートがありながらも、あくまでも私たち学生が主体。**どんな活動をするのか自分たちで考え自由に挑戦**できるので、とてもやりがいがあります。

こんな活動をしています!

NST(栄養サポートチーム)サークル

現在、健康栄養学部・国際看護学部・短期大学歯科衛生学科、計12名のメンバーが在籍。それぞれの学部・学科の教員のサポートを受けながらも、学部の枠を超えて交流をはかりながら、学生たちが主体となって活動。NSTを楽しく学んでいく、さまざまな企画を実施していく予定です。



大手前大学
健康栄養学部3年生
NSTサークル代表

藤原 明音



自分たちで考え行動するからこそ 成長できる

先日、初の企画イベントとして、本学の卒業生で実際にNSTの一員として活躍されている管理栄養士をお招きし、講演会を開催。憧れのプロの方からリアルな現場の話を聞くことができて、本当に勉強になりました。また、企画や進行について**学部の枠を超えてみんなで話し合うことで、知識や視野が広がって**新たな気づきや発見もあり!私はもともと内気な対応でしたが、リーダーとしてサークルを引っ張っていきながら、責任感を持って前向きに動けるようになりました。

授業にはない 深い体験を通して 将来につなげたい

今後も医療現場で活躍されているプロの方をゲストスピーカーにお招きし、講演会やトークセッションを開催していくと同時に、サークル内活動としては、学部学科ごとにチームをつくり、**管理栄養士・看護師・歯科衛生士がそれぞれNSTにおいてどのような役割を担っているのか研究発表**を行うプレゼンテーションを実施する予定。そのほかにも、臨床見学や症例検討会、学会への参加など、やりたいことがいっぱい!いろいろなことに**どんどん挑戦して、将来につながる学びの場にしていきたい**です。



幅広い学びや体験で自分自身の可能性を広げたい!

学びと経験の一つひとつが 新しい自分と出会うチャンスになる。

本当にやりたいことを

見つけ出したいから

特にやりたいことが決まっていなかった私は、自分の可能性を広げる環境で学びたいと考えていました。大手前短期大学に決めたのは、**多様なコースがあり、コースの壁を超えて自由に学べることと、途中でコース転向もできる柔軟性**に惹かれたから。将来の方向性を決めかねていた私にとって大きな魅力でした。入学後は「ビジネスキャリアコース」で企業で働くための幅広い知識とスキルを身につけながら、「デジタル・デザインコース」のWEBサイト制作やプログラミングの授業も取り入れ、苦手のPC作業にも挑戦しています。



TOTの隊長として

仲間と関わり大きく成長

授業のほかにも何か自分の強みをつくりたくて、学生スタッフ「TOT (Team Ottemae Tandai)」に参加しました。イベント担当になっていきなり「このままでは学祭の準備が間に合わないかも!」という事態を仲間と力を合わせて無事解決し、その時の対応が評価されて隊長に就任。リーダーとして多くのメンバーと関わりチームワークで活動に取り組んでいくなかで、**自ら課題に気づく力や実現のために動く行動力、多角的な視点からモノゴトを捉え考える力**が身につきました。

こんな活動をしています!

学生スタッフTOT(トット)

学生スタッフTOT(トット)は、大手前短期大学に進学を希望する高校生たちに向けて、オープンキャンパスや楽しいイベントを通して、学生目線で広報や支援活動を行っています。InstagramなどSNSを活用してさまざまな情報も発信!仲間と力を合わせて学生生活の魅力を伝えます。



大手前短期大学
ライフデザイン総合学科2年生
学生スタッフTOT隊長

寺田 夕海



「おもしろそう」と感じたら

どんどん挑戦

経験の一つひとつが自信につながると感じた私は、おもしろそうと感じたことは何でも挑戦しています。1年生の時、授業の一環として市民参加型イベント『伊丹を歩こうワンデーウォキング』にボランティア参加したこともその一つ。街の歴史を知るほか、幅広い年齢の方々に**笑顔で声をかけたりコミュニケーションを図るなかで、関係づくりの大切さと楽しさ**を実感。今度はもっと自分から積極的に動いていけるよう2年目も再トライする予定です。



これからもいろんなことを楽しみ

成長したい

もともと人見知りで受け身だった私が、TOTの隊長やボランティア活動をするなど**積極的に行動し、コミュニケーション力を発揮できるようになったのも、何事も思い切って挑戦してきたから**。そして、将来どんな仕事に就いても、人と人とのつながりや信頼関係を築いていく力が必要不可欠だと思います。この先社会に出て、人と関わりながらその時々課題に挑み解決できる人間になれるよう、これからも**いろんなことを楽しんで、経験を通して成長**をめざします!

第3回日本国際芸術祭に今福教授が出展

7月2日(水)から6日(日)にかけて大阪・関西万博EXPOメッセ「WASSE」をメイン会場として開催された第3回日本国際芸術祭「世界を繋ぎ、未来を創るアート」の企画に、植物染料研究者であり美術家でもある建築&芸術学部 今福章代教授と国際日本学部の考古学者 森下章司教授との共同研究で再現した1,000年前の技法で染色した着物を含む作品を展示しました。会場では植物の色で染めた舟も浮かびました。

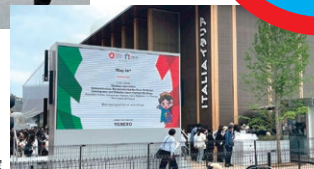


今回展示した着物は、今福教授と森下教授が福井大学 東村純子准教授と共同で4年をかけて実施した古代の紫染色再現実験・研究を基に、2024年京丹後市にて古代の染色方法で大手前大学の学生や地元の子どもたちと共に染色した紫です。

またジャパンデーの7月3日(木)には、オープン参加のワークショップ「古代の色彩染色体験!天然染料で丹後シルクを染色」を開催。約250名が、蘇芳(すおう)、くちなしなど古くから使用される植物染料を使用し、天然染料体験をしました。株式会社吉村商店さまから着物生地、丹後ちりめん、田中直染料店さまから染料をご提供いただき、本学学生を中心としたスタッフが運営をサポートしました。



EXPOメッセ「WASSE」



イタリア館



建築&芸術学部 学生7名、万博イタリア館で開催のワークショップに参加

5月10日(土)、万博イタリア館にてフィレンツェ大学建築学部による「ルネッサンスで遊ぼう!- 遺産修復と革新的建築デザインの生きた例としてのフィレンツェ大聖堂:ドーム制作者フィリッポ・ブルネレスキに捧げるパフォーミング・ワークショップ」が開催され、日本の大学からは、大手前大学のほかに、東京大学・京都精華大学の総勢約40名の学生が参加しました。

フィレンツェの老舗出版社マンドラゴラ社によるサイズ1:450のクーポラ(ドーム)のペーパークラフト制作ワークショップにて、本学建築&芸術学部建築・インテリアデザインコース下田ゼミの4年生の高岡さんが最短で制作を終え、副賞としてフィレンツェ大学建築学部のオフィシャルバックパックが贈られました。



SDGs未来ビジネス

学生コンテストで準グランプリ!

学生の活躍

2024年9月13日(金)、「大学エコシステム ひょうごSDGsオープンイノベーション」主催による「SDGs未来ビジネス学生コンテスト2024」にて、現代社会学部の荒木浩成さん、辰巳麗さん、長泉茉莉さんが「企業課題部門」に参加。みごと準グランプリに輝きました! 2030年のSDGs目標達成に向け、そのマイルストーンとなる「大阪・関西万博2025」の開催に合わせて開催された学生によるSDGsビジネスアイデアのコンテストで、本学は共立女子大学の学生と協働で、スケールアウト株式会社より提示された課題「アフリカ・ナイジェリアをモデルに、AIやロボティクスなどの最新の情報知能技術を活用し、発展途上国と先進国が協力してWin-Winとなる新ビジネス提案」に取り組みました。



建築&芸術学部 学生3名が

西宮警察署に「啓発ポスター」を贈呈

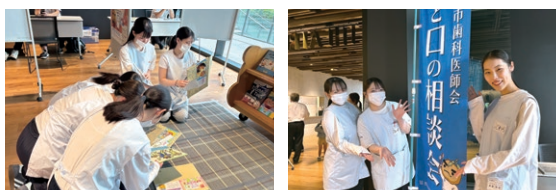
地域・社会連携

建築&芸術学部では、2024年度春学期 実技科目「コミック・イラストレーションI」(指導教員:江藤非常勤講師)課題の一環として「特殊詐欺」「自転車のながらスマホ」「闇バイト」について啓発する3種類のポスターを制作。学生委員会を選抜された学生3名の優秀作品を学外でも広く活用するため兵庫県西宮警察署と連携し、警察署管轄内の関連施設にて掲示されることに。2月28日(金)に贈呈式が執り行われ、学生は緊張した面持ちで作成したポスターを手渡しました。西宮警察署 警視正 仁科年正署長は「表現されている啓発内容は今まさに問題となっている件であり、警察として訴えたい内容が若い感性で表現されているポスターである」と評され、学生それぞれのポスター制作に込めた思いなどについて耳を傾けられました。



歯科衛生学科 学生5名が 地域・社会連携 箕面市で地域保健事業に参加

6月7日(土)、歯科衛生学科3年生5名が、箕面市と一般社団法人箕面市歯科医師会が主催する地域保健事業「第60回 歯っぴい健康フェスタ2025」に参加。会場となった箕面市立文化芸能劇場にて学生たちは、歯科相談室、紙芝居、お口の細菌数を数える「細菌カウンター」、お口のトレーニング「パタカラッシュ」の4つのブースにおいて訪れた参加者の皆さまに対応しました。歯科衛生学科では、キャンパスでの授業だけでなく、実習として学外のフィールドにおいても実践に近い学びを深めています。



大手前大学茶室「竹立庵」を登録有形文化財(建造物)に

3月21日(金)、文化審議会が大手前大学茶室「竹立庵(旧岩本家住宅茶室)」を登録有形文化財(建造物)に指定するよう文部科学省に答申。官報告示を経て登録となる予定です。「竹立庵(ちくりゅうあん)」は昭和初期、大阪北浜で相場師として活躍した岩本房吉・



信一郎親子が西宮市郷免町(現大手前大学さくら夙川キャンパス・アートセンター敷地)に整備した邸宅の一部と考えられています。京都久田家3代宗全(1647-1707)茶室「半床庵」の写しと伝えられており、間取りの基本構成と「半床庵」の特徴の一つでもある「上下違いの明かり窓」「中板の一枚板」等が踏襲されています。1990年建築家安藤忠雄氏設計による大手前アートセンター建設時、既存の木造家屋を解体し、竹立庵のみ移築され現在に至ります。

大阪大手前キャンパスが 連続テレビ小説「おむすび」のロケ地に

2024年8～10月にかけ延べ5日間にわたり、連続テレビ小説「おむすび」(NHK)の撮影が大阪大手前キャンパスで行われました。「おむすび」は橋本環奈さん演じるヒロイン「結(ゆい)」が、どんなときでも自分らしさを大切にする「ギャル魂」を持ち続け、平成・令和の荒波を、福岡・神戸・大阪を舞台にたくましく突き進む物語。大手前大学は大阪城のすぐそばにある大阪大手前キャンパスに健康栄養学部を有し、調理実習施設等が充実していることなどから、結が栄養士をめざして学ぶ専門学校のロケ地に選定されました。また、健康栄養学部の学生有志40名がエキストラとして調理実習室・実験室・ロビーでの撮影に参加。緊張感みなぎるドラマ撮影現場を経験する貴重な機会となりました。このドラマをきっかけに、栄養士(管理栄養士)という私たちの食と健康を支える職業が、あらためて世の中に広く理解されたのではないかと思います。



2025国際交流デーを開催しました

6月7日(土)、さくら夙川キャンパスにて「国際交流デー」を開催。日本人学生と外国人留学生の交流の場だけではなく、異文化理解の機会として、年1回開催しており、約120名の学生と教職員の参加がありました。今年は初の試みとして、午前中は「Stage部門」、午後には「体験部門」の2部制に。出場国はフランス、ベトナム、モンゴル、マレーシア、ミャンマー、インドネシア、中国、韓国、日本の9か国。「Stage部門」では、学生たちによる踊りや歌、楽器の演奏、母国の文化紹介、クイズなどバラエティーに富み、工夫を凝らした発表で、笑いあり感動ありの2時間でした。「体験部門」では、民族衣装の着用や、ゲームをしたり、楽器を弾いたり、外国のお菓子を食べたりと留学生の母国について理解を深める貴重な機会となりました。本イベントを開催するにあたり、大手前大学・大手前短期大学の国際交流学生スタッフ(Team Colors)が一丸となり運営し、イベントを盛り上げてくれました。これからも国際交流留学生センターと連携しながら、楽しいイベントを企画して参ります。どうぞご期待ください。



地域・社会連携 芦屋市との包括連携協定締結について

2024年12月16日、芦屋市と大手前大学・大手前短期大学は、市と企業及び団体等の相互連携と協働による地方創生に資する活動を推進し、市民参画協働による豊かな地域社会の活性化と住民が安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう、右記の協定項目について、包括連携協定を締結しました。同日行われた締結式では、芦屋市長、野村教育長、平野大学学長、福井短大学長よりそれぞれ連携に期待する思いが述べられました。

大手前大学・大手前短期大学ではこの5つの項目に基づき、今後、さまざまな活動において芦屋市との連携を行ってまいります。

- (1) 地域活性化に関すること
- (2) 健康増進に関すること
- (3) 教育・研究・文化振興に関すること
- (4) 防災(災害時の対応を含む)・防犯に関すること
- (5) その他地方創生に関すること



募金ご協力のお願い

大手前学園創立80周年記念事業募金

皆さまのご支援をもちまして、2026年に大手前学園は創立80周年、大手前大学は創立60周年、大手前短期大学は75周年を迎えます。

この記念すべき節目に記念事業として「教育・研究・学生活動の支援事業」「施設・整備の環境整備事業」「地域及び社会貢献事業」などを、順次実施する予定です。また、記念事業の一環として「在学生の奨学資金およびキャンパス整備資金の調達」のために記念事業募金の募集を開始しております。在学生の学生生活がさらに充実した日々となるように教育環境整備を進めるためには、より多くの方々からの深いご理解と力強いご支援が大きな支えとなります。

この趣旨にご賛同いただき皆さまの温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

申込・払込方法

① インターネットからのご寄付

大手前学園のホームページからお申込みいただくと、クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-Easy決済がご利用いただけます。大手前学園創立80周年記念事業募金ホームページよりお申し込みください。

大手前学園寄付サイト



② 振込用紙によるご寄付

振込通知書※に必要事項をご記入いただき、金融機関にてお振込みください。なお、次の指定金融機関をご利用いただけますと、手数料は学園が負担いたします。

指定金融機関：三井住友銀行、三菱UFJ銀行、ゆうちょ銀行

※振込通知書は下記事務局にお問い合わせください

【募金実績報告】 大手前学園創立80周年記念事業募金 2024年度実績 252件 / 24,276,000円

寄付金減免税措置について

大手前学園にご寄付いただいた場合、減免税措置(寄付金控除)が受けられます。

●個人からのご寄付

寄付者の皆様は「税額控除制度」と「所得税控除制度」のいずれかのメリットの大きい方を選択して確定申告を行うことで減免税措置を受けることができます。

税額控除制度

(年間の寄付金合計額※1－2千円)×40%＝寄付金控除額※2

計算式で出た寄付金控除額を所得税額から控除

※1 年間総所得金額等の40%を限度とする ※2 所得税額の25%を限度とする

所得税控除制度

(年間の寄付金合計額※1－2千円)＝寄付金控除額

計算式で出た寄付金控除額を課税所得金額から控除

※1 年間総所得金額等の40%を限度とする

遺贈によるご寄付のご案内

大手前学園では、一般篤志家の方が所有されている資産の一部を、遺贈(遺言による寄付)による寄付として受け入れる制度を信託銀行と連携してご紹介しております。受取人として大手前学園を指定していただくことで学園の教育・研究活動の一層の充実発展に、ご遺産をお役立ていただくことができます。ぜひともご検討ください。

【遺贈による寄付制度の流れ】

- ① 学園が提携している信託銀行(三井住友信託銀行)をご紹介します。
- ② 遺言書作成に関して信託銀行の財産コンサルタントなど専門スタッフが無料で相談をお受けします。
遺言書の中で、大手前学園へのご寄付の内容を具体的に指定いただけます。
- ③ 信託銀行が遺言書の保管と管理を行います。
- ④ ご逝去の通知を受け次第、信託銀行が遺言の内容を執行します。
- ⑤ ご遺志にしたがい、大手前学園の教育研究活動の充実発展のために、大切に活用させていただきます。

【税制】 学校法人への遺贈によるご寄付は、相続税が非課税となります。

●お問い合わせ

学校法人大手前学園 法人本部財務部／創立80周年記念事業事務局

西宮市御茶家所町6-42 TEL:0798-32-7560 Mail:shoujin@otemae.ac.jp

公式SNSにて
最新情報を
随時配信中!



大手前チャンネル
大手前大学・大手前短期大学



otemae_univ
大手前大学



大手前大学 /
大手前短期大学



大手前大学
@otemae_univ



大手前短期大学
@otemae_college

